

～田原理事長の補足説明～

少子高齢化が進み、労働力不足が深刻になり、人材の確保がより一層難しくなっています。

7,000 万人の需要に対して、6,429 万人の供給しかない状態になるので、福井県の人口の約 7～8 倍の人数が不足することになります。

労働力不足をカバーしてもらうためにも、今後は子育てなどで仕事から離れていた女性、シニア層、外国人材の力が必要となり、それぞれが働きやすい環境を作らなければなりません。

当法人も既に 1 名の特定技能外国人が入社していますが、今後も 6 名の特定技能外国人、数名の留学生が入社されますので、働きやすい職場環境を整えるためにも、今回の研修できちんと学んでもらいたいと思います。

また、外国人介護職員のことだけでなく、皆さんにはケア記録をipadで入力するなど、併せて生産性を上げていってほしいと思います。